

博多税関支署管内貿易概況（確定値）

平成26年3月28日

博 多 税 関 支 署

平成25年分

一輸出・輸入額とも過去最高一 （過去最高の輸出超過）

輸出は1兆8,581億71百万円（13.5%増）で、4年連続で増加し、記録に残る1979年以降、過去最高となった。これは、「電気機器」が44.4%増、「輸送用機器」が6.4%増、「一般機械」が9.7%増となったことなどによる。

輸入は1兆357億87百万円（21.2%増）で、4年連続で増加し、記録に残る1979年以降、過去最高となり、初の1兆円超えとなった。これは、「魚介類及び同調製品」が11.4%減となったものの、「電気機器」が58.7%増、「一般機械」が15.1%増、「家具」が22.0%増となったことなどによる。

輸出入総額は2兆8,939億58百万円（16.1%増）、輸出入差引額は8,223億85百万円で、記録に残る1979年以降、過去最高の輸出超過となった。

※ 本文中、表示のない比較数値は、「前年比」を使用しています。

1 総 額

区 分	平成25年	前年比
輸 出	1兆8,581億71百万円	113.5%
輸 入	1兆0,357億87百万円	121.2%
計	2兆8,939億58百万円	116.1%
差 引 (前 年)	8,223億85百万円出超 (7,824億31百万円出超)	

2 輸 出

【品目別動向】

品目別では、電気機器（構成比30.4%）、輸送用機器（同23.1%）、一般機械（同12.8%）、ゴム製品（同10.3%）の順となっている。

（電気機器）

・「半導体等電子部品」が中華人民共和国向けで34.0%減となったものの、大韓民国向けで4.7倍、香港向けで4.5倍に、「映像機器」がアメリカ合衆国向けで7.3倍になったことなどから、全体では5,656億36百万円（44.4%増）となった。

（輸送用機器）

・「自動車」がロシア向けで69.8%減となったものの、中華人民共和国向けで19.0%増となったことなどから、全体では4,286億23百万円（6.4%増）となった。

（一般機械）

・「半導体等製造装置」が大韓民国向けで8.0%増となったことなどから、全体では2,372億36百万円（9.7%増）となった。

（ゴム製品）

・「ゴムタイヤ及びチューブ」がアメリカ合衆国向けで20.0%減となったことなどから、全体では1,909億70百万円（3.6%減）となった。

【国（地域）別動向】

国別では、中華人民共和国（構成比30.7%）、大韓民国（同19.4%）、アメリカ合衆国（9.0%）の順となった。

（中華人民共和国）

・「自動車」が19.0%増となったものの、「半導体等電子部品」が34.0%減となったことなどから、全体では5,697億17百万円（1.5%減）となった。

（大韓民国）

・「半導体等電子部品」が4.7倍になったことなどから、全体では3,601億46百万円（26.0%増）となった。

（アメリカ合衆国）

・「ゴムタイヤ及びチューブ」が20.0%減となったものの、「映像機器」が7.3倍になったことなどから、全体では1,669億30百万円（6.1%増）となった。

※ 本文中、表示のない比較数値は、「前年比」を使用しています。

3 輸 入

【品目別動向】

品目別では、電気機器（構成比 19.3%）、一般機械（同 9.3%）、魚介類及び同調製品（同 6.9%）、家具（同 4.6%）の順となっている。

（電気機器）

・中華人民共和国からの「音響・映像機器（含部品）」が53.7%減となったものの、「半導体等電子部品」が、中華人民共和国からが6.0倍、英国からが7.1倍になったことなどから、全体では1,996億65百万円（58.7%増）となった。

（一般機械）

・中華人民共和国からの「事務用機器」が16.1%増となったことなどから、全体では959億12百万円（15.1%増）となった。

（魚介類及び同調製品）

・「魚介類（生鮮・冷凍）」が、ロシアからが19.6%減、アメリカ合衆国からが22.8%減となったことなどから、全体では716億46百万円（11.4%減）となった。

（家具）

・中華人民共和国からの「家具」が22.5%増となったことなどから、全体では472億8百万円（22.0%増）となった。

【国（地域）別動向】

国別では、中華人民共和国（構成比41.4%）、アメリカ合衆国（同8.4%）、大韓民国（同7.4%）の順となった。

（中華人民共和国）

・「音響・映像機器（含部品）」が53.7%減となったものの、「半導体等電子部品」が6.0倍、「事務用機器」が16.1%増となったことなどから、全体では4,287億10百万円（29.2%増）となった。

（アメリカ合衆国）

・「大豆」が49.4%増となったものの、「魚介類（生鮮・冷凍）」が22.8%減となったことなどから、全体では872億14百万円（2.0%減）となった。

（大韓民国）

・「自動車の部分品」が92.3%増となったことなどから、全体では762億円（26.7%増）となった。

※ 本文中、表示のない比較数値は、「前年比」を使用しています。

この内容を引用されるときは、博多税関支署発表による旨を付記してください。
この資料に関する問合先：博多税関支署 総務課（Tel 092-263-8331）
門司税関のホームページでもご覧になれます。 <http://www.customs.go.jp/moji/>